

8月24日は 薬害根絶の日



1999年、厚生省は薬害再発防止「誓いの碑」を庁舎正面に建立。全国薬害被害者団体連絡協議会は、この日を「薬害根絶デー」とし交渉を続けています。

被害救済を

子宮頸がん予防として接種されたHPVワクチン。副反応の被害者は、全身の痛み・脱力・歩行困難・感覚過敏・記憶障害など様々な症状で今も苦しんでいます。

一刻も早い原因解明、治療法の確立を望みます。

薬害被害者にならないために

薬害肝炎の教訓が生んだ「医薬品等行政評価・監視委員会」の活動を注視しよう。



薬害スモンの闘いが作った「医薬品副作用被害救済制度」を活用しましょう。

薬で心配なことは、お近くの薬剤師にご相談ください。



薬害根絶デー
紹介



HPVワクチンの
ほんとうのこと

こんなにあった日本の薬害



1956 ペニシリンショック

アレルギーによるショック死。

1961 サリドマイド

睡眠薬を妊娠中に服用し、手足や耳に奇形をもった子どもが生れた。被害児は世界で数千人。日本約千人。日本では、レント博士の警告後、9カ月間も販売を継続。

1965 アンプル入りかぜ薬

大衆薬で死亡者。発売中止に

1970 スモン

下肢の麻痺や視力障害などの末梢神経障害。70年に殺菌剤キノホルムの販売中止。被害者約12000人。副作用報告を無視し腸剤として大量販売。闘いの結果、「医薬品副作用被害救済制度」を創設。

1973 筋短縮症

幼児、小児への筋肉注射(大腿四頭筋、三角筋、臀筋)によって、膝や肩・腰の関節が曲がらなくなる症状が相次いだ。被害者1万人以上。

1983 薬害エイズ

エイズウイルスにより汚染された血液凝固因子製剤により血友病患者約1800人がHIVに感染した。アメリカでは安全な加熱製剤が83年に実用化。日本では85年まで危険な製剤が使用された。

1988 陣痛促進剤

陣痛促進剤により、母子の死亡や

重大な障害を残す。

1989 MMRワクチン

新3種混合ワクチンにより、約2千人の幼児に無菌性髄膜炎や脳症が発症。死亡や重篤な後遺症を残した。危険性が指摘されても5年間接種を続け、被害が拡大。

1993 ソリブジン

抗がん剤との併用で死亡者多数。

1996 薬害ヤコブ病

脳外科手術に使用したヒト乾燥硬膜がプリオンで汚染。130名以上がヤコブ病を発症し、植物状態の後に死亡。日本での使用禁止はアメリカから10年遅れの97年。

2002 薬害肝炎

C肝炎ウイルスに汚染された血液凝固因子製剤を投与されたことで、1万人以上が感染。2008年に国・製薬企業と基本合意。

2002 薬害イレッサ

肺がん治療薬、発売直後から副作用死多発。抗がん剤の、承認審査・安全性情報伝達・副作用被害救済に関する課題を残した。

2006 薬害タミフル

インフルエンザの治療薬を服用した後、飛び降りなど異常行動で死亡。一時、10代への使用を制限。

2009 HPVワクチン被害

歩行困難・記憶障害など重い後遺症。被害者は2016年より、国と企業の責任を裁判で追及中。2013年に中止した接種推奨を今年再開。

